

実務研修①  
更新・再研修①

# 1 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント(テキスト上巻 P4～P60)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日      会場     

## 【目的】

介護保険制度の理念等を理解するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の現状を理解する。また、介護保険制度における利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を認識する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 介護保険制度の創設の背景や基本理念について説明できる。			
2 ケアマネジメントの導入の意義と介護支援専門員の役割について説明できる。			
3 地域包括ケアシステムが求められる背景や基本理念について説明できる。			
4 自らの地域の地域包括ケアシステムの現状を把握する方法について説明できる。			
5 介護サービスの利用手続き(要介護認定等に関する基本的な視点と概要)について説明できる。			
6 居宅サービス計画等の重要性について説明できる。			
7 保険給付及び給付管理等の仕組みについて説明できる。			
8 継続学習の必要性と、具体的な学習方法について説明できる。			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。



## 実務研修③

## 3 実習オリエンテーション(社協資料 テキスト下巻 P4～P30)

管理番号【           】 氏名【           】

【記入日】平成    年    月    日    会場

## 【目的】

研修における実習の位置付けと目的、実施方法を理解し、効果的な実習に結びつける。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 研修における実習の位置づけと目的について説明できる。			
2 実習協力者に実習内容について説明できる。			
3 実習における心構えについて説明できる。			
4 実習に取り組む姿勢について説明できる。			
5 個人情報保護をはじめとした実習に必要な資料の準備ができる。			
6 実習協力者の状況に合わせて実習を行うことの必要性について説明できる。			
7			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

実務研修④  
更新・再研修③

4 地域包括ケアシステム及び社会資源（テキスト上巻 P578～P605）

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日    会場                     

【目的】

地域包括ケアの理念を踏まえ、地域包括ケアを推進していくに当たり介護支援専門員に求められる役割を理解する。また、利用者を支援する上で知っておくべき各種制度や地域の社会資源の重要性を理解する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 地域包括ケアが求められる背景について説明できる。			
2 地域包括ケアの目的と意義について説明できる。			
3 社会資源の把握方法と社会資源調査票の意義を理解し実習につなぐことができる。			
4 地域包括ケアにおける介護支援専門員の役割について説明できる。			
5 地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を説明できる。			
6			
7			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑤  
更新・再研修④5 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理  
(テキスト上巻 P218～P253)

管理番号【           】 氏名【           】

	会場	
--	----	--

## 【目的】

人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識する。また、介護支援専門員としての職業倫理を理解するとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認識する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。			
2 守秘義務を順守した、ケアマネジメントの意義・重要性について説明できる。			
3 日常業務において起こり得る倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。			
4 利用者の生活を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。			
5 人権等を踏まえ、利用者本位のケアマネジメントの重要性について説明できる。			
6 チームケアを行う際の倫理の必要性を判断できる。			
7 介護保険制度で求められる利用者のニーズの代替機能の意義について説明できる。			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑥  
更新・再研修⑤

6 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)  
(テキスト上巻 P554～P574)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日      会場     

【目的】

多職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組成し、円滑に機能させるための基本的な技術を修得する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。			
2 チームを構成する各専門性についての役割について説明できる。			
3 チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。			
4 アセスメントに基づく必要なチームの形成の必要性が説明できる。			
5 チームにおける必要な情報共有ができる。			
6 円滑なチーム運営ができる。			
7			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑦  
更新・再研修⑥

## 7 医療との連携及び多職種協働の意義(テキスト上巻 P610～P641)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日	会場	
------------------------	----	--

## 【目的】

医療との連携や多職種協働の意義を踏まえ、具体的な連携の場面で必要となる基本的な知識や連携の手法を修得する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 医療との連携の意義と目的について説明できる。			
2 医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。			
3 地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。			
4 多職種協働の意義について説明できる。			
5 多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。			
6 多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者のその家族の同意の必要性について説明できる。			
7			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑧  
更新・再研修⑦

## 8 ケアマネジメントのプロセス(テキスト上巻 P296～P326)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 ケアマネジメントプロセスの全体像を理解する。				
修得目標		自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
		受講前	受講後	
1	ケアマネジメントプロセスの構成と流れについて説明できる。			
2	各プロセスの意義について説明できる。			
3	各プロセスの目的について説明できる。			
4	介護サービス計画書標準様式の考え方を説明できる。			
5	ケアマネジメントプロセスの全体像について説明できる。			
6				
7				
8				
9				
10				

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出



実務研修⑨  
更新・再研修⑧

9 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意  
(テキスト上巻 P258～P291)

管理番号【           】 氏名【           】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 利用者及びその家族に対する適切な説明と合意形成の手法を修得する。また、サービス担当者会議、地域ケア会議等様々な場面においても説明と合意が得られる技術を修得する。				
修得目標		自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
		受講前	受講後	
1	介護支援専門員として行う説明の意義・目的・責任について説明できる。			
2	利用者や家族に対し、理解度に配慮した説明を行うことの重要性について説明できる。			
3	多職種及び場面に応じた説明を行うことができる。			
4	説明から合意に向かうプロセスの重要性について説明できる。			
5				
6				
7				
8				
9				
10				
<p>*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。</p>				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑩  
更新・再研修⑨

10 自立支援のためのケアマネジメントの基本(テキスト上巻 P64～P157)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援することの重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。				
修得目標		自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
		受講前	受講後	
1	中立・公平なケアマネジメントの重要性について説明できる。			
2	利用者本位の選択を支えるケアマネジメントの意義について説明できる			
3	利用者の権利を尊重したケアマネジメントの重要性について説明できる。			
4	社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。			
5	利用者の能力に応じたケアマネジメントの重要性について説明できる。			
6	家族に対する支援の重要性について説明できる。			
7				
8				
9				
10				
<p>*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。</p>				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑪

11 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎  
(テキスト上巻 P162～P213)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日	会場	
------------------------	----	--

## 【目的】

ケアマネジメントにおける相談援助の専門性を理解し、直接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。また、利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的に捉える視点の必要性を理解し、利用者の自立支援に向けた相談援助技術を修得する。

修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1 直接援助を行う職種と相談援助を行う職種の役割や視点の違いについて説明できる。			
2 相談援助を行う職種の基本姿勢について説明できる。			
3 相談援助を行う上での留意点について説明できる。			
4 利用者を多面的に捉える視点の重要性について説明できる。			
5 相談援助を行う上で自己を客観視することの重要性について説明できる。			
6			
7			
8			
9			
10			

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

## 実務研修⑫

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術  
12 「受付及び相談並びに契約」（テキスト上巻 P346～P381）

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 受付及び初期面接相談(インテーク)、契約の各場面で求められる実践的な技術を修得する。				
修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)	
	受講前	受講後		
1	インテークの目的と意義について説明できる。			
2	受付及び相談と面接の場面における援助の留意点について説明できる。			
3	利用者及び家族との信頼関係の構築の重要性について説明できる。			
4	契約行為を行うにあたっての留意事項について説明できる。			
5	契約の仕組みが利用者主体であることの意義と仕組みについて説明できる。			
6	利用者の状況に合った面接に必要な情報や書類の準備を実施できる。			
7				
8				
9				
10				
*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修            : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

実務研修⑬  
更新・再研修⑩

ケアマネジメントの展開  
14「脳血管疾患に関する事例」(テキスト下巻 P101～P178)

管理番号【           】 氏名【           】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 脳血管疾患の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たったポイントを理解する。				
修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)	
	受講前	受講後		
1	脳血管障害の特徴について説明できる。			
2	脳血管障害における生活障害の特徴について説明できる。			
3	脳血管障害における療養上の留意点や起こりやすい課題について説明できる。			
4	脳血管障害における環境の調整(福祉用具・住宅改修を含む)の必要性について説明できる。			
5	脳血管障害におけるリハビリテーションの必要性について説明できる。			
6	医療職をはじめとする多職種との連携・協働のポイントについて説明できる。			
7	脳血管障害の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について説明できる。			
8	継続学習の必要性と、具体的な学習方法が説明できる。			
9				
10				
<p>*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。</p>				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑭  
更新・再研修⑪

ケアマネジメントの展開  
15「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」(テキスト下巻P255～P308)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 筋骨格系疾患及び廃用症候群の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。				
修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)	
	受講前	受講後		
1	筋骨格系の疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防・改善方法や特徴について説明できる。			
2	廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。			
3	筋骨格系疾患や廃用症候群の予防や改善方法について説明できる。			
4	筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点について説明できる。			
5	筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法について説明できる。			
6	筋骨格系疾患や廃用症候群の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について説明できる。			
7	継続学習の必要性と、具体的な学習方法が説明できる。			
8				
9				
10				
<p>*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。</p>				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修<sup>⑮</sup>  
更新・再研修<sup>⑫</sup>

ケアマネジメントの展開  
16「内臓の機能不全(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)に関する事例」(「テキスト下巻 P311～P358」)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日		会場	
【目的】 内臓の機能不全に係る各疾患・症候群(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。			
修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
	受講前	受講後	
1	内臓の機能不全に係る各疾患・症候群(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病)の種類、原因、症状について説明できる。		
2	内臓の機能不全等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。		
3	内臓の機能不全等における療養上の留意点について説明できる。		
4	内臓の機能不全等における生活習慣を改善するための方法について説明できる。		
5	内臓の機能不全等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について説明できる。		
6	継続学習の必要性と、具体的な学習方法が説明できる。		
7			
8			
9			
10			
*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。			

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出

実務研修⑩  
更新・再研修⑬

ケアマネジメントの展開  
17「認知症に関する事例」(テキスト下巻 P181～P252)

管理番号【           】 氏名【           】

【記入日】平成    年    月    日		会場		
【目的】 認知症の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。				
修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)	
	受講前	受講後		
1	4つの代表的な認知症について、その特徴とケアのポイントが説明できる。			
2	認知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題について説明できる。			
3	独居で認知症の要介護者等におけるアプローチの視点や方法について説明できる。			
4	認知症の要介護者と同居している家族に対する支援や地域への配慮と協働の必要性について説明できる。			
5	認知症ケアの考え方にに基づき、ケアマネジメントへの展開方法のポイント(倫理的な対応、医療職をはじめとする多職種連携、行動・心理症状(BPSD)、環境調整へのアプローチ等)について説明できる。			
6	認知症の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について説明できる。			
7	継続学習の必要性和、具体的な学習方法が説明できる。			
8				
9				
10				
<p>*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。 自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。 修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。</p>				

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出



実務研修⑰  
更新・再研修⑭

ケアマネジメントの展開  
18「看取りに関する事例」(テキスト下巻 P361～P416)

管理番号【                      】 氏名【                      】

【記入日】平成    年    月    日    会場                      

【目的】

看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。

	修得目標	自己評価*		自由記載欄 (この項目で学んだこと、気づいたこと)
		受講前	受講後	
1	看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について説明できる。			
2	看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて説明できる。			
3	看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について説明できる。			
4	看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について説明できる。			
5	看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法について説明できる。			
6	継続学習の必要性と、具体的な学習方法が説明できる。			
7				
8				
9				
10				

\*自己評価は、4:できる 3:概ねできる 2:ほとんどできない 1:全くできないの4段階評価です。

自己評価の欄に4～1の数字を記入してください。

修得目標の自己評価は〇〇ができるという評価にしていますので、それぞれの項目が説明できるようになることが重要です。

自己評価の数値、自由記載欄はすべて記載してください。記載不足の場合、再提出をお願いする場合があります。

※実務研修 : 研修記録シートは第7日目に【第1日～第7日分前期分】まとめて提出

※更新・再研修 : 研修記録シートは最終日に【第1日～第9日分】まとめて提出